

# 仏心と葬弁儀

ーその20ー

## 利用者にやさしい施設・設備を実現

前号でもご案内させていただいたように、平成16年に竣工いたしました新しい丸和堂会館は、宗派や葬儀規模の大小を問わずに、常に親切丁寧で心のこもった葬儀のお手伝いをスムーズに実現できますよう、高齢者や車いす利用の方々に優しい全館バリアフリーの平屋造り構造となっております。斎場と呼ばれる葬儀スペースも広く、3つの会場を合わせて最大310人が参列できます。また、ご遺族の控え室をはじめ、男女別の着替え室や僧侶の控え室、厨房、洗面所などのほか、ご都合で病院から直接ご自宅にお迎えできないご遺族のために、ご遺体の安置所も設けました。

新しい斎場の一番の特徴は、全席イス席の大セレモニーホール祭壇背後に設置された、幅9メートルの超大型スクリーンでしょう。ここに左右対称の2つの富士山が荘厳に映し出され、僧侶の読経とともに朝日から青空、夕日、夜空へと刻々と移り変わる情景は遺族の心を慰め、故人を偲ぶ参列者の記憶に強く残るセレモニーを演出いたします。ご希望により映像は、雄大な釧路湿原や太平洋の大海原といった情景にも差し替えることが可能です。また、会場が3会場に分かれた場合、第2会場におきましても55インチの大型

モニターを使用して第1会場と同じ演出空間を作り出すことができます。

## 家族葬・密葬にも対応

最近ここ釧路地方におきましても、故人のご家族など内輪だけで葬儀を済ませる密葬・家族葬が増えてきています。「家族や親戚が少ないから」「葬儀に来て頂いた義理を欠くことなく、子供世代が対応してくれるか不安」「会社や周りの人たちに迷惑をかけたくない」などといった事情によるものです。

丸和堂会館では、専用の小セレモニーホールを設けており、20畳・40畳の2部屋があるため50人〜80人程度での葬儀が可能なおほか、仮通夜の会場として利用することもできます。

もちろん、どちらも座布団利用、イス席利用の葬儀ができます。

また丸和堂では、ご遺族の葬儀のご負担を少しでも軽減して頂くため、葬儀委員長や受付、司会の費用はもちろん、会館の使用料を無料（通夜・葬儀2日間）としております。また、故人に對しまして感謝の礼を尽くすべく、すべての故人を火葬場まで宮型霊柩車でお送りしております。ご遺族に喜ばれています。

ーつづくー

■次回の掲載は4月17日(土)を予定しております。